

『九州情報大学研究論集』 執筆要領

投稿規約

1. 本誌への投稿者は、原則として九州情報大学および同学術研究所所属の研究者（助手・非常勤講師を含む）および九州情報大学大学院学生とする。（共同執筆の場合は、執筆者の1名以上が上記要件を満たしていること）。ただし大学院学生が単独で投稿する場合、原稿の掲載は大学院委員会の推薦に基づくものとする。また、単位取得退学者の投稿は退学後3年以内とする。その扱いは在学大学院学生に準ずる。なお紀要編集部会は、当該分野の専門家の意見を聞くことができる。
2. 本誌に掲載する論文等は、いずれも他に未発表のものに限る。
3. 投稿する者は、紀要編集部会が定める書式（「執筆要領」参照）に従い、期日までに、投稿の旨を届け出る。
4. 原稿は所定の執筆要領に従って作成して提出する。

執筆要領

1. 論文と研究ノート、書評の分量は次のとおりとする。
 - (1) 論文は、12,000字以上20,000字以内を原則とする。
 - (2) 研究ノートは、12,000字以内とする。
 - (3) 書評は、4,000字以内とする。
2. 論文と研究ノートには、本文（図表等を含む）のほか、表題紙および要約（邦文および欧文の双方もしくはいずれか一方のみを著者の必要に応じて）を添付する。ただし、研究ノートの要約の添付については筆者の任意とし、添付する場合には邦文要約のみとする。
 - (1) 表題紙には、題名の全文、欧文題名、著者名を記す。
 - (2) 邦文要約は、500字以内のものを本文前に添付する。欧文要約は、300語以内とする。
3. 投稿原稿の書式の基本的な原則は以下のとおりとする。
 - (1) 原稿は、A4判横書き（右開きA3）、2段組、一行22文字、42行とする。要約は横書き、1段組み、一行39文字とする。ただし写真、図表等はこの限りではない。
原稿の性質上、1段組、一行52文字を望む場合は紀要編集部会に申し出ること。
 - (2) 文字サイズについては、次のようにする。

①原稿種別	全角 10.5 ポイント
②表題	全角 14 ポイント、太字
③氏名	全角 12 ポイント、太字
④本文	全角 10.5 ポイント
⑤要約	全角 9 ポイント
⑥その他：注記や参考文献などについては、執筆者の必要に応じて文字サイズを縮小することができる。	

- (3) 書体は和文が MS 明朝、欧文は Times New Roman とする。ただし部分的に太字や他の字体を使用することは認める。
- (4) 余白は、左 20mm、右 20mm とする。
- (5) 章、節の表記については、原則として、「 1. (1) (a) 」 または「 I 1. (1) (a) 」の順とする。
- (6) 本文中の引用文は「 」でくくり、文献名を次項(7)の形式に従い明記する。
- (7) 参照文献は、著者名、発行年、題名、出版社の順に記述する。その際、邦文の書名は『 』でくくり、欧文の書名はイタリック体にするか下線を引く。また、参照文献が論文の場合、邦文論文は「 」で、欧文論文は“ ”でくくり、出典の書名等を明記する。
- (8) 注(註)と文献リストを別にする。参照文献の本文・注(註)等における挙示は、[著者名 発行年: ページ数] とする。
- (9) 注(註)は、本文中の該当箇所(の右肩)に番号をうち、注(註)自体は、各章末、各頁脚注、または本文末にまとめて記載する。
- (10) 図表は順に番号をうち、本文中に挿入箇所を指示する。著作権への配慮は怠らないよう留意する。
- (11) 紀要編集部会は、上記(1)～(10)の事項に限って、紀要編集部会の判断で執筆者に修正を求める場合がある。

上記以外の書式を希望する場合は、紀要編集部会で検討し、正当な理由があると認められれば許可する。

4. 原則として投稿原稿は、Microsoft Word、ないしは LaTeX で入力すること。
なお、上記執筆要領に沿う Microsoft Word で書かれたテンプレートを用意しているので、原稿を書かれる際には利用可能である。
5. 投稿原稿は、電子メディア(フロッピー、CD ディスク等、著者名と表題を明記したラベルを貼付すること)と印字した原稿1部の両方を指定の期日までに紀要編集部会へ提出しなければならない。手書き原稿は受理しない。ただし、メールで投稿原稿や校正原稿を授受する場合は、その方法について、紀要編集部会から具体的に指示をする。
上記以外の場合は、紀要編集部会で検討し、正当な理由があると認められれば許可する。
6. 提出された原稿は、論文、研究ノート、翻訳の順で掲載する。それぞれ種別内では、基本的に五十音順(執筆者名)で掲載する。特集・共同研究等、紀要編集部会で認めたものは、巻頭に配置する。
7. 論集の印刷判型は投稿原稿の書式とし、A4 判左綴じとする。
8. 執筆者の校正は、最大 2 回までとする。
9. 原稿の採否は、編集部会が委嘱する匿名レフェリーの審査に基づき、編集部会が決定する。条件付で採用の場合、必要な修正が指示される。この場合、投稿を辞退することができる。

以上